

防災訓練

6月29日に消火器訓練、7月26日に地震想定訓練、8月23～27日で水害訓練を実施しました。

消火器訓練では、消火の際にどのように気をつけた方が良いか、訓練用の消火器を使用して理解を深めました。

地震想定訓練では、震度4の地震発生を想定し訓練を実施しました。地震が発生した際に、転倒の危険のある物や窓ガラスから離れる等、避難までの間に利用者の安全確保をどのようにしたら良いかを意識し、実際に利用者一人一人にヘルメットや防災頭巾を装着してもらいました。

水害訓練では、昨今、台風や大雨の影響により、河川の氾濫をニュースで目にすることも増え、改めて水害時にどのようなことが求められるのか、荒川が氾濫したと仮定して、訓練を行いました。

いつ、どこで、どのような災害が起きるかわかりませんが、引き続き、安心・安全に過ごしていただけるように努めています。（記 長岡）



研修報告

＜内部研修＞

4月1日 窒息・誤嚥対応研修

9月13日～15日 個人情報マニュアル・障害者差別解消法ガイドライン研修

＜外部研修＞

7月26日～29日 日本てんかん協会てんかんのある人と関わる人にてんかんについての正しい知識と理解を得てもらう為の講座

8月24日、25日、9月22日 東京都障害者虐待防止・権利擁護研修

9月13日 ハラスメント防止講習会

9月21日 接遇講習会

職員紹介

今関 美智代 非常勤支援員



- ①映画・DVD観賞・御朱印めぐり
- ②やきにく
- ③穏やかなおばあちゃんになりたい
- ④先輩たちにいろいろ教えてもらいながら一日も早く仕事に慣れるようになります。

- ①趣味
- ②好きな食べ物
- ③将来の夢
- ④一言

編集後記

先日道を歩いていると、トンボが飛んでたり、どんぐりが落ちているのに気づきました。小さい秋の発見です。まだまだ世の中自粛モードではありますが、季節を感じる気持ちは大切にしたいと思います。みなさんも小さな秋を見つけてみてはいかがでしょうか？

（記 片桐・柳川）

ひと人舍と人ひと

社会福祉法人あいのわ福祉会

Social Welfare Juridical AINOWA Organization

〒121-0832 東京都足立区古千谷本町2-25-11 TEL03-3854-1741 FAX03-3854-1742

社会福祉法人あいのわ福祉会 舎人あかしあ園

発行責任者 市原 純哉

主任より

『神の見えざる手』—私が大学時代に確か経済学原論とかいう授業で学んだ、経済学者アダムスミスの言葉です。市場経済において一人ひとりが自分の欲求に基づいた行動をとっていても、神の見えざる手が働いて、自然と受容と供給のバランスがとれていくというものだったと記憶しています。私はこの言葉がけっこう好きで、市場経済に限らず、世の中のいろいろなことが神の見えざる手によって、バランスが保たれているような気がしていました。自分の中で嫌なことがあったときも「いつか神の見えざる手が働いて、事態は好転するだろう」なんて前向きに考えたこともあります。そして、現在のコロナ禍も、神の見えざる手が働いて、じきに終息するだろうとずっと思っていました。しかし、一向にその気配は見えてきませんね。

ただ、なんでもかんでも自分勝手に行動してい

ても神様が整えてくれるわけではありません。アダムスミスも『最低限のモラル』に基づいた上の行動を求めています。このコロナ禍においては、一人ひとりが基本的な感染予防対策をすることが最低限のモラルでしょうか。メディアでは、感染対策を無視した行動をとる人が取り上げられることがあります、多くの人が感染予防対策を行なが生活しているように感じます。舎人あかしあ園でもどうしたら感染リスクを減らせるか考えながら支援を行っていますし、ご利用者、ご家族もこちらの感染対策に理解を示してくださっています。

だから、そろそろ、見えざる神の手が働いてもいいころかなあと思っているのですが・・・。どうか、そろそろ、よろしくお願ひします（切実！）

（記 草野）

看護師より

「暑い夏に比べて過ごしやすくなるはずの秋ですが、なぜか体調を崩しやすい」と感じている方も多いのではないでしょうか。秋は気象状況も変動しやすく、涼しいと思えば、猛暑近く気温が上がる時もあり、さらには台風もったりし、気温や湿度、気圧の変動により、体調をコントロールしきれず、秋バテになる人もいるようです。また、秋になると日照時間が減少します。それに伴って気分が落ち込み、夏場は気にならなかった事が心配になったりということも…。

いずれにせよ、この季節に体調を良くして、寒さに向かうこれからシーズンを元気に過ごし、新型コロナウイルス感染症はもとより、秋冬に流行る風邪などの病気を予防したいものですね。

秋バテの対策として、以下に何点か挙げますので、自分ができることから始めてみてください。

①身体を温める。具体的には暖かい飲み物やみそ汁スープなどを飲む、お風呂に入るときはシャワーだけではなく、お湯にゆっくりとつかるなど。

②水分を積極的に摂る。秋は夏にくらべると喉の渴きを感じにくくなるので注意が必要です。

③太陽の光を浴びて運動する。早朝の太陽を浴びることで、自律神経の働きを高め、気分の落ち込みも解消することができます。

④睡眠時間を確保して、グッスリ眠る。早寝早起きをすることで自律神経のバランスを整え、免疫力を高めることができます。

⑤栄養バランスを整える。冷たいものの取り過ぎに注意。食べ過ぎ、飲み過ぎをしない。

季節の変わり目の体調に注意して、快適な秋をお過ごしください。

（記 新垣）

七夕イベント

今年度の舍人あかしあ園の七夕は、他の地域の七夕を知ろうをテーマに「仙台七夕」をイメージした「仙台七夕風 in 舎人」を行いました。

紙皿やすずらんテープ、折り紙、シールなど好きな材料を使い、画用紙には利用者の方の願い事を書きました。入口前の笹の葉には、職員の願い事も飾りました。

7月7日の七夕当日は、七夕の曲を流し、色とりどりの願い事をながめ、七夕の雰囲気を味わいました。

家族の健康を願ったものや自分の欲しいもの、行きたい場所を書いたもの、新型コロナウイルスの終息を願った願いがあり、皆さんの思いをたくさん感じた七夕でした。

(記 柳川)



給食イベント

給食委員会では、毎日の食事が楽しめるよう、毎月特別なメニューを提供する日を何日か設け、いつもとちょっと違うスペシャルなメニューを提供しています。

9月は夏祭りをイメージした「お祭りメニュー」、みんなのリクエストから決まった「天丼」、各月の季節を意識した「十五夜メニュー」、セレクトメニューは「焼き鳥丼」のタレか塩の2種類から選択した味を楽しめます。

皆さん、笑顔で食事を摂られています。食後は新型コロナウイルスの感染対策を取りながらも、何が好きなのか、来月は何を食べたいのか、話が盛り上がっています。

日々の美味しい楽しい給食から、皆さんの笑顔が引き出せるよう、来月以降も楽しめるメニューを提供していくこうと思います。

(記 荒井)



Aグループ

今年度は活動スペースの変更や大幅な職員の異動、新規利用者の受け入れなど大きな変化からのスタートでした。そのような中、作業では自助具のリニューアル、作業時間の見直し、ルールの確認をしていくことで利用者の皆さんを取り組むものがわかりやすくなるよう進めたり、「SNSについて」や「障がい者手帳について」などの勉強会の開催、イントロクイズ等のレクリエーションを通して仲間同士の関係性を深めることを行ってきました。

今後は、身体のメンテナンスをする時間を少しづつ組み入れていこうと思っています。

(堀内 記)



Bグループ

Bグループでは自主生産活動で、「メモ帳」とフェルトボールの「電車ストラップ」を作成しています。

メモ帳は地域の印刷会社の捨ててしまう紙を利用していただき、いただいた紙で表紙を作っています。メモ帳(大)100円、メモ帳(小)は50円です。

電車ストラップは舍人ライナーをモチーフにしたデザインになっています。1つ200円です。

メモ帳も電車ストラップも色も形、大きさなども一つとして同じものではなく、世界に一つの作品となっています。

お値段もお手頃価格でご用意しておりますので、家族でお揃いにストラップ!!電話の横にメモ帳を!!

9月より綾瀬あかしあ園のふおらんに販売場所を拡大しております。お買い求めの際には舍人あかしあ園Bグループまでご一報ください。よろしくお願ひいたします。(記 関根)



Cグループ

今年の夏、園芸活動でトマトとナスを栽培しました。水やりと太陽の光をたっぷりと浴びて、元気よく沢山実り、給食の一品に添えて頂きました。

創作活動では半紙とサインペンを使って朝顔の壁掛けを作りました。かわいらしい模様ができました。

リラクゼーション活動では夏の自然の音、光の空間を楽しみました。

(阿部 記)

